

〈広島・長崎 原爆投下 79 周年 メッセージ〉

戦争と核をなくし、平和を実現する行動

○ 人類最悪の 核爆弾と放射能被ばくを経験した日本と韓国

米国が8月6日、広島と長崎に核爆弾を投下して79年となった。1945年8月6日午前8時15分、広島の上空600m地点で「リトルボーイ」と呼ばれる16キロトン(kt)のウラン核爆弾が爆発した。3日後の8月9日午前11時、長崎上空580mでウラン弾よりも威力が大きい16キロトン(kt)級プルトニウム核爆弾が爆発した。人類初の核爆弾で二つの都市で死亡した人だけで25万人余りと推定され、生存した放射能被爆者も70万人以上だ。都市は凄まじく破壊され、妊婦や胎児を含む数十万人が痕跡もなく溶けてなくなり、炎に焼かれて即死した。

広島と長崎で被ばくした韓国人は約7万~10万人余り、死者は5万人余りと推定される。生き残った被爆者4万3千人余りは解放後、故郷に戻ってきたが、被ばく後遺症で苦しんだ末に死んでいった。生き残った被ばく1世がおり、被ばく2世も先天性の異常や遺伝性の疾患に苦しんでいる。韓国原爆被害者は韓米日政府を相手取り、存在認定、調査、日米政府の責任認定と謝罪、賠償・補償を要求してきた。被ばく2・3世に対する対策はいまだない。都市は再建されたが、放射能に被ばくした人々の苦痛は次代に引き継がれて続いている。

○ 帝国主義の秩序と核をめぐる競争は相変わらず

日本は自分たちが犯した帝国主義侵略戦争に対してきちんと反省しない。皮肉なことに、戦争には敗れたが、敵国だった米国など世界の列強たちと強固なパートナーシップを作って経済大国に成長した。平和憲法と呼ばれる日本憲法第9条(国際紛争のための武力行使を永久に放棄して国家交戦権を認めない)は、武器輸出と米・日軍事同盟などで事実上形だけが残っている状況だ。日本の米軍基地と自衛隊基地が増加し続け、軍事基地化は日々強まっており、東アジアの平和を深刻に脅かしている。日本は世界の武器輸入国7位の国であり、最近では武器輸出に乗り出していると伝えられている。

1969年、ロシア、アメリカ、中国、フランス、イギリスなど5カ国は、自分たちだけが核兵器を保有することを宣言した核拡散防止条約(NPT)を作った。人類歴史で侵略戦争を最も頻繁に行った国々が、「核」を使用しないが、自分たちだけに核兵器保有と開発を許可した。ベルギー、ドイツ、イタリア、オランダ、トルコに米国戦術核が配置されている。核拡散防止条約が結ばれて以降、様々な国が核兵器の開発を試み、パキスタン・インド・イスラエル・朝鮮民主主義人民共和国は自ら核兵器を開発・保有している。

スウェーデンの外交政策研究機関である「ストックホルム国際平和研究所」が6月に発表した「2024年度年鑑」によると、世界中で使用可能な核兵器は9,585個だ。2024年1月現在で、1位ロシア4,380個(-109)、2位米国3,708個(0)、3位中国500個(+90)、4位フランス290個(0)、5位英国225個(0)だ。その他インド172個(+8)、パキスタン170個(0)、イスラエル90個(0)、朝鮮民主主義人民共和国50個(+20)である。新規に核弾頭が118個増加した。これらのうち米国とロシアが全世界の核弾頭の90%を保有している。

世界最大の軍事同盟体である北大西洋条約機構NATOは、今年、冷戦終息後で最大規模の合同演習に突入した。ロシア・ウクライナ戦争を口実に多国間軍事同盟が強化され、戦争の危険は

さらに大きくなっている。ロシアのウクライナを侵略戦争が2年5ヶ月を超えて続いており、中東ガザ地区ではイスラエル軍のパレスチナ民衆虐殺が続いている。

2024年の韓米合同演習は国連軍司令部の戦力供与国のうち12カ国が参加する軍事演習で、ユン・ソンニョル政府になってからさらに強化された。8月には北朝鮮の核使用シナリオを前提とした軍事訓練を予定しており、先制攻撃が強化された訓練であることが分かっている。また、核兵器搭載の戦略原子力潜水艦であるケンタッキーが釜山港に寄港したのは、1992年の朝鮮半島「非核化宣言」で戦術核兵器が撤収されて以来初めてのことだという。その他、米国の核戦略爆撃機が清州空港を利用して軍事訓練を行ったと言われており、朝鮮半島の軍事緊張も高まっている状況だ。

○ 核兵器のもう一つの名前、核発電

2024年6月の韓国水力原子力の発表によると、世界中で運営中の核発電所は33カ国で合計416基だ。米国(94)、フランス(56)、中国(56)、ロシア(36)、韓国(26)の順だ。

米国スリーマイルの核事故とチェルノブイリの核事故、そして福島核事故に至るまで大型核事故が発生した。核爆弾よりも深刻な放射能汚染があり、現時点までに元の状態に回復していない。実際、核発電所の事故は核爆弾よりも威力的で致命的である。

国際核振興機構であるIAEAと日本政府は、2023年から福島の核事故で発生した核廃棄物134万トン（発生し続けている）を毎年数万トンずつに分けて海に投棄している。世界の416基から発生する核廃棄物と閉鎖決定した210基の核発電所に蓄積されている核廃棄物が、対策なしに積み上げられていたり、海に捨てられたりすることもある。この核廃棄物は、我々が想像することもできない量の放射性物質を含んでおり、最大100万年のあいだ完全に隔離保管しなければならない。

○ 死の疾走を止めろ

韓国は主権を侵奪され、惨たらしい戦争を行ったが、南北朝鮮の軍事緊張を緩和して平和を構築するために適切に答えを見つけることができていない。（韓国は）世界9位の武器輸出国であり、世界5位の核強国であって、軍事力と核の力の増強によっては平和は守られない。

核兵器と核発電はコインの両面である。核技術は人類と共存できない。核弾頭と戦争を前面に押し立てた力の秩序は、罪のない人々の苦痛と死をもたらすだけであり、戦争の産物である核技術を利用した核発電は、放射能汚染の災禍を隠蔽した欺瞞だ。広島と長崎の惨状が無駄にならないように、私たちは一緒に戦争のない世界、核のない世界をつくっていかう。核の技術と戦争を放棄しないすべての国家と権力に対抗して闘うであろうし、その闘いを止めないだろう。

2024年8月6日

AWC（反帝国主義・反戦平和アジア共同行動）韓国委員会